

- ・インフルエンザの都の定点当たり報告数は、16.74で**注意報レベル**が続いています。
- ・新型コロナウイルス感染症の都の定点当たり報告数は、5.30で先週より減少しています。
- ・感染性胃腸炎は例年、冬の時期に集団感染が多数報告されており、注意が必要です。

全数報告対象疾患

■(五類) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件

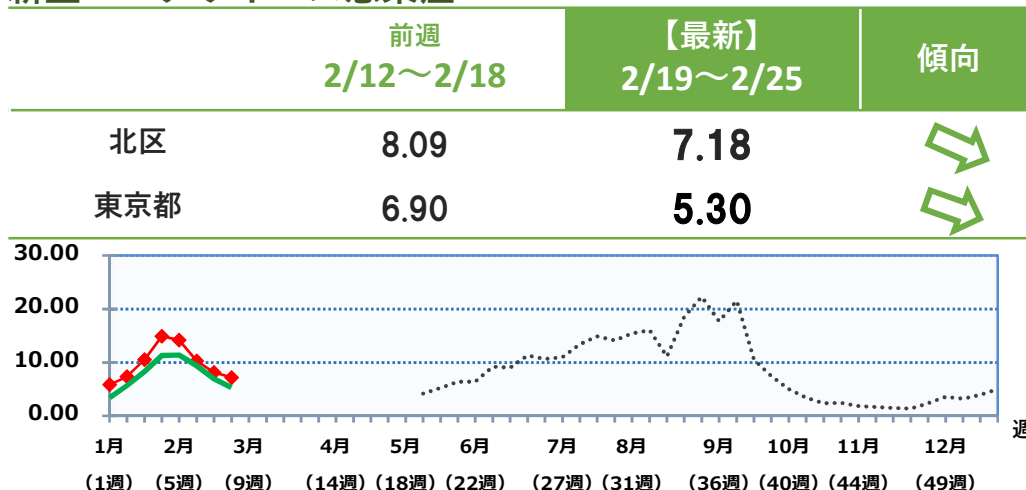
- ・(80代女性) 血清群はA群、感染地は国内、感染経路は創傷感染

定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
—◆— 2024北区
— 2024東京都

新型コロナウイルス感染症



Topics

インフルエンザ Q&A

【Q1：インフルエンザと普通の風邪はどう違うの？】

A1：風邪は様々なウイルスによって起こり、多くはのどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳等の症状が中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりありません。一方、インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することによって起こり、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感等の症状が**比較的急速に現れる**のが特徴です。あわせて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

【Q2：季節性インフルエンザと新型インフルエンザはどう違うの？】

A2：季節性インフルエンザはA型のインフルエンザウイルスの**一部**が変化した結果、毎年流行するものを指します。一方、新型インフルエンザは、A型のインフルエンザウイルスが**大きく**変異した結果生まれます。大多数のヒトが抗体を持っていないため、**全国的に急速にまん延**します。世界的な流行となり、多くのヒトが新型インフルエンザに対して免疫を獲得すると、季節性のインフルエンザへと落ち着いていきます。新型インフルエンザの大流行は10~40年おきに起こるといわれています。

【Q3：A型とB型はどう違うの？】

A3：A型の大きな特徴は、同じA型の中にもさらに種類が多くあること、そしてウイルス自身に変異していくことです。A型のインフルエンザウイルスは**100種類以上**あるとされており、流行を引きおこすウイルスはシーズン毎に変わります。予防接種を受けたり、一度A型のインフルエンザにかかったりすることで、身体に免疫ができて**種類**の違うウイルスには対応できません。インフルエンザの予防接種を毎シーズン受けるのはこのためです。一方、B型にはA型ほど、細かい種類もなく性質が変わることも多くはありません。そのため、一度B型のインフルエンザにかかると、短期間でもう一度B型にかかることは少ないとされています。

★季節性インフルエンザと新型インフルエンザ、A型とB型、どれについても**予防法は同じ**です。

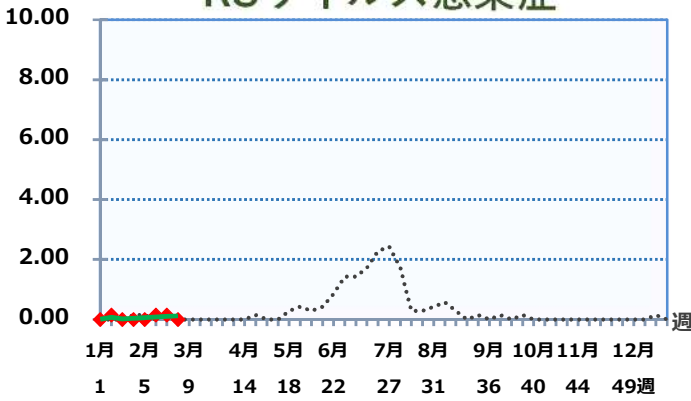
毎年予防接種を受け、手洗いやうがい、規則正しい生活を習慣にすることで免疫を高めていきましょう。

定点把握対象疾患

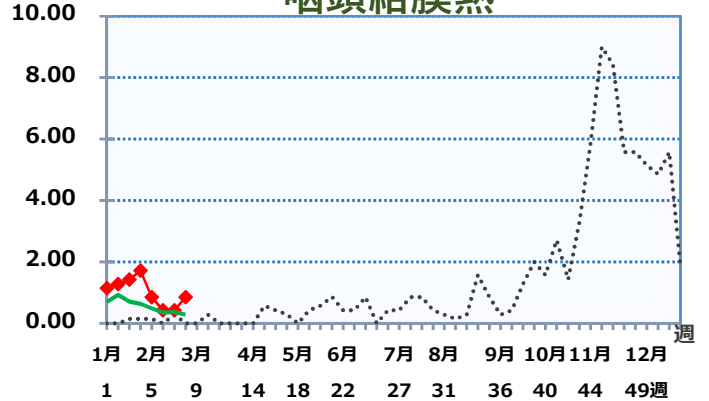
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数 ÷ 定点医療機関数)

- 2023北区
- ◆ 2024北区
- 2024東京都

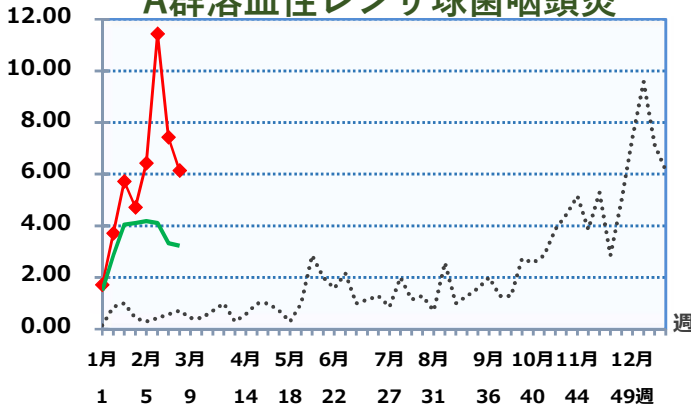
RSウイルス感染症



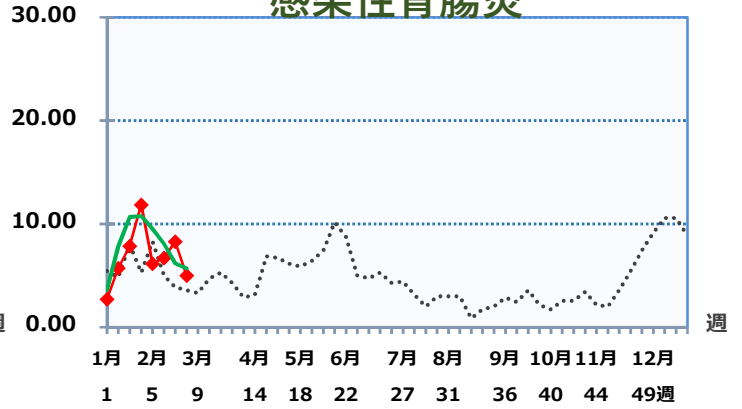
咽頭結膜熱



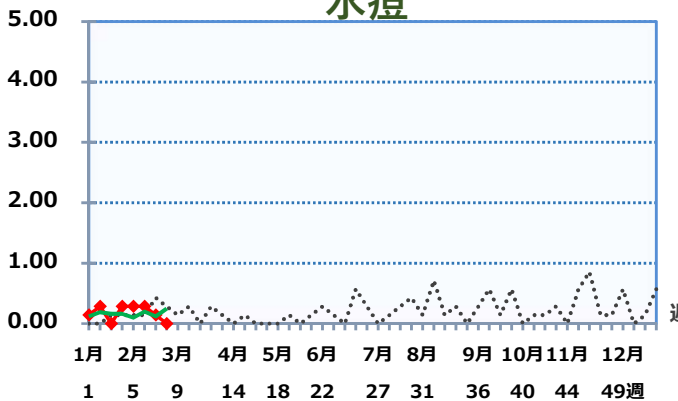
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



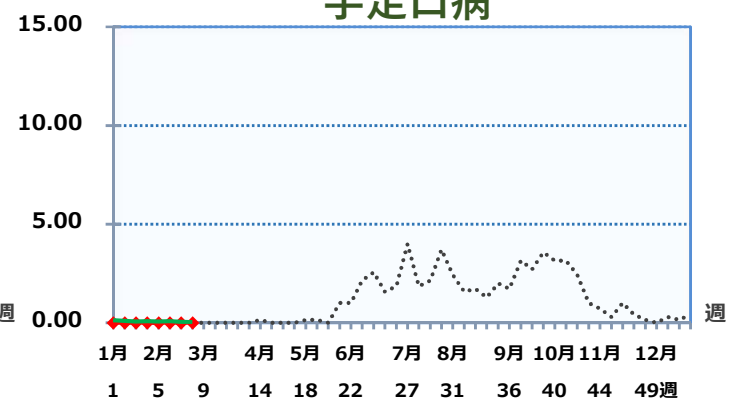
感染性胃腸炎



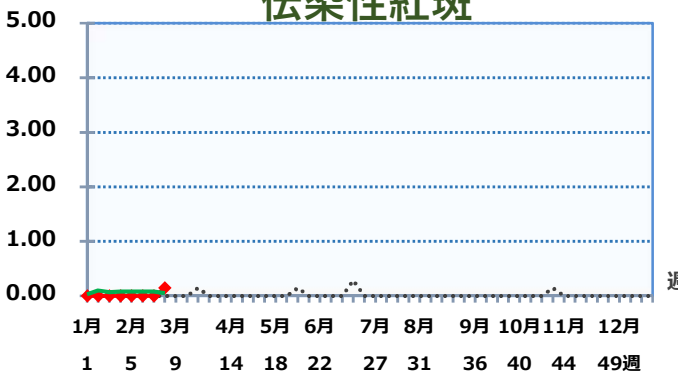
水痘



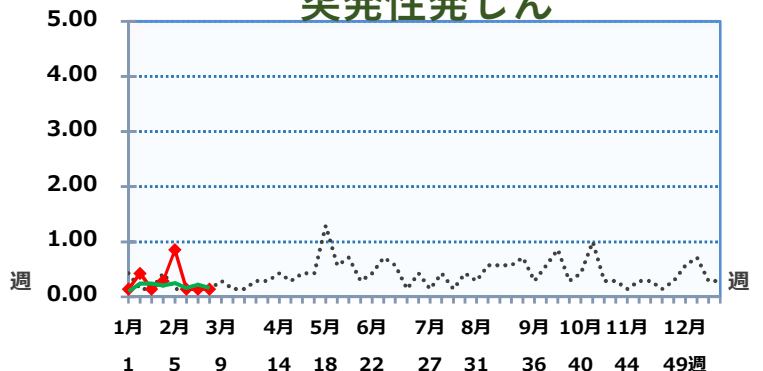
手足口病



伝染性紅斑



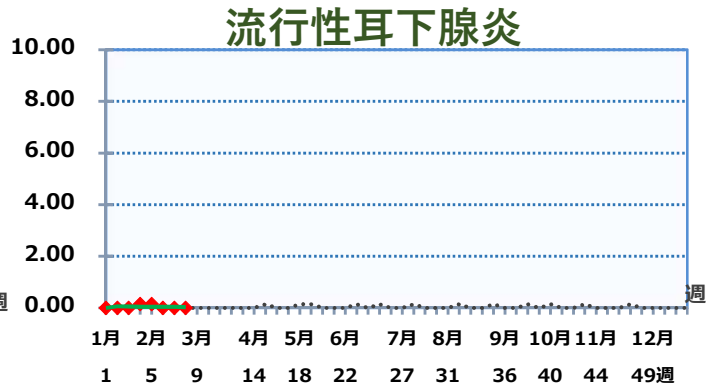
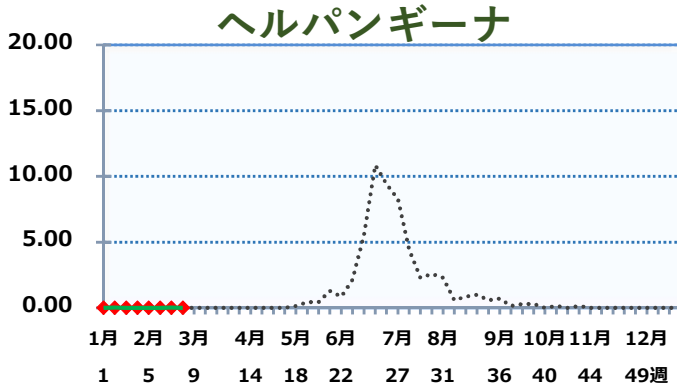
突発性発しん



定点把握対象疾患

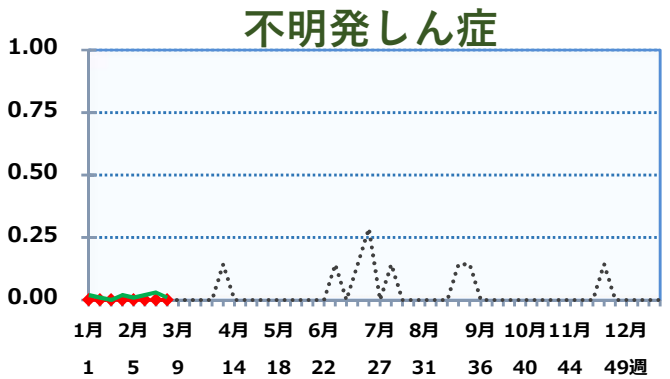
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
—◆— 2024北区
—■— 2024東京都



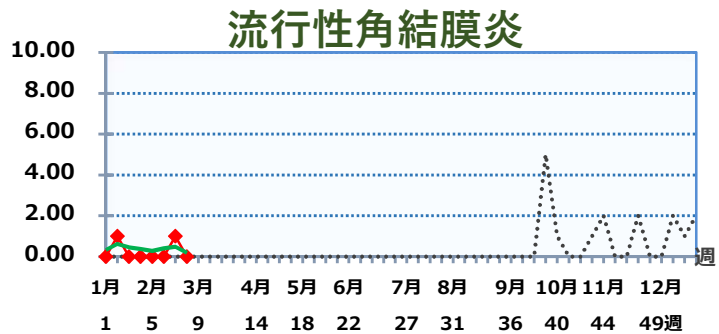
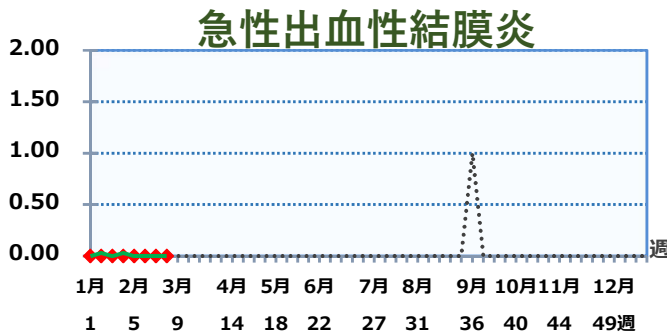
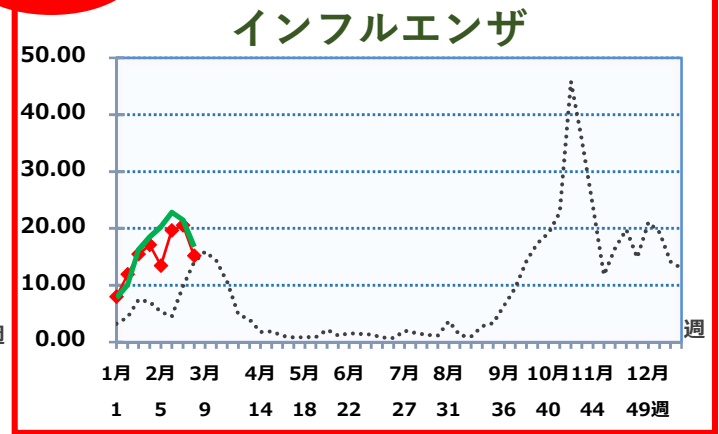
川崎病

北区：定点医療機関当たり患者報告数：0.00
東京都：定点医療機関当たり患者報告数：0.00



注意

注意報レベルが続いており、注意が必要です。



性感染症 (2023年1月分まで)

※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2024年2月分は2024年第11週号にて掲載予定です。

